

付録

調査票

保育及び子育て支援に関する調査票

社会福祉法人 日本保育協会
東京都渋谷区神宮前 5-53-1

※ この調査票の回答者について、該当する職名の番号を○で囲んでください。
(回答者は原則として保育所長としますが、保育所長が未設置の場合は他の方がご回答ください)

- 1 保育所長 2 主任保育士 3 保育士 4 市町村の担当者 5 その他

※ 調査時点は、平成16年8月1日現在とします。

貴園の設置状況等についてお答えください。

1. 経営主体について、該当する番号を○で囲んでください。

- 1 市町村などの公営 2 社会福祉法人などの民営

2. 所在地を記入してください。

- 1 都道府県・指定都市名 () 2 市区名 ()
3 町村名 ()

3. 施設認可年月を記入してください。

昭和・平成 () 年 () 月

4. 児童定員数を記入してください。 児童定員数 () 人

5. 現在の入所児童数を記入してください。

年齢区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳以上児	合計
入所児童数	人	人	人	人	人	人	人

6. 看護師(又は保健師)は、配置されていますか。

- 1 常勤で配置 2 非常勤で配置 3 配置されていない

7. 栄養士(又は管理栄養士)は、配置されていますか。

- 1 常勤で配置 2 非常勤で配置 3 市町村(役所)に配置 4 配置されていない

1 あなたの保育所では、0歳児保育を実施していますか。該当するものの記号を○で囲んでください。

ア はい (→1-1へ) イ いいえ (→1-2へ)

1-1 生後何ヶ月から受入れていますか。該当するものの記号を○で囲んでください。

ア 産休明けから イ 3ヶ月から ウ 6ヶ月から
エ 9ヶ月から オ 11ヶ月から

1-2 実施していない理由について、該当する主なもの1つの記号を○で囲んでください。

ア 地域にニーズがない
イ 市町村が積極的でない
ウ 0歳児は家庭で育てるべきである
エ 地域に保育ママ、ファミリーサポートセンター等の制度がある
オ その他 ()

2 あなたの保育所では、延長保育（11時間の開所時間の前後の時間において、さらに概ね、30分以上の延長保育を行うこと）を実施していますか。該当するものの記号を○で囲んでください。

ア はい (→3へ) イ いいえ (→2-1へ)

2-1 実施していない理由について、該当する主なもの1つの記号を○で囲んでください。

ア 地域にニーズがない
イ 市町村が積極的でない
ウ 子どもにとって長時間の保育はよくない
エ その他 ()

3 あなたの保育所では、障害児保育を実施していますか。○をつけてください。

ア はい (→4へ) イ いいえ (→3-1へ)

3-1 実施していない理由について、該当する主なもの1つに○をつけてください。

ア 地域にニーズがない

- イ 市町村が積極的でない
ウ 健常児との統合保育を行う余裕がない
エ 障害児保育の知識・経験を持つ保育士が少ない
オ その他 ()

4 次の内、あなたの保育所で実施している事業はありますか。実施しているものすべてに○をつけてください。

- ア 地域の子育て支援（子育て相談、子育てサークル支援等）
(→4-1、2、3、4へ)

- イ 一時保育
ウ 保育所地域活動事業
エ 休日保育事業
オ 夜間保育事業
カ 特定保育事業
キ 実施していない

※以下の質問（4-4まで）は、4でアに○をつけた方のみお答えください。それ以外の方は5へお進みください。

4-1 あなたの保育所の子育て支援は、次の内どれですか。該当するもの1つに○をつけてください。

- ア 国庫補助の地域子育て支援センター事業
イ 都道府県の単独補助のある子育て支援事業
ウ 市区町村の補助ができる範囲の子育て支援事業
エ 保育所独自での子育て支援事業

4-2 子育て支援事業を開始するに当たって、地域の子育て支援のニーズ調査を実施しましたか。

- ア 調査した イ 調査しない

4-3 あなたの地域には、潜在的に（保育所に相談してこないが）子育て支援を必要とする家庭があると思いますか。

- ア あると思う (→4-3-1、4-4へ) イ ないと思う (→4-4へ)

4-3-1 そうした家庭への支援について、どのように対応したらよいと考えますか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| ア 積極的に働きかける | イ 状況をみて働きかける |
| ウ 相談してくるのを待つ | エ わからない |

4-4 あなたの保育所の子育て支援の内容は、次の内どれですか。該当する項目すべてに○印をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------------|
| ア 来園育児相談 | イ 電話育児相談 | ウ メール育児相談 |
| エ 子育てサークル支援 | オ 保育に関する情報提供 | カ 家庭的保育(保育ママ等)への支援 |
| キ 園庭開放 | ク 育児講座 | ケ 子育てサロン・井戸端会議 |
| コ 絵本の貸し出し | サ 妊産婦指導 | シ 子育て新聞・情報誌の発行 |
| ス 出張保育(公民館等) | セ 子育てボランティア養成 | |
| ソ 保育所行事への参加 | タ その他() | |

5 あなたの保育所には、保護者会(父母の会等)の組織はありますか。

- | | |
|-----------|--------------|
| ア はい(→6へ) | イ いいえ(→5-1へ) |
|-----------|--------------|

5-1 保護者会がない理由は、主に何ですか。該当する項目1つに○をつけてください。

- | |
|------------------|
| ア 保育所が必要性を考えていない |
| イ 保護者が望まない |
| ウ 中心になる保護者がいない |
| エ 以前はあったが今はない |

6 この10年間で、保護者が変化したと思われることは、次の内どれですか。主なもの3つまでに○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| ア 権利意識が強くなった |
| イ ひとり親家庭が増えた |
| ウ 高学歴の親が増加し、保育所への様々な要望が多くなった |
| エ 親としての意識が薄れてきている |
| オ 育児不安をかかえる親が増えた |
| カ コミュニケーションをとりにくく親が多くなった |
| キ 保育所保育への評価が高くなかった |
| ク 子育てを楽しむ親が増えてきた |
| ケ 育児知識が豊富になった |
| コ 父親や祖父母が子育てに協力的になった |

サ その他 ()

7 あなたの保育所では、家庭訪問を行っていますか。1つだけ○をつけてください。

- ア 定期的に行っている
- イ 必要なときに行っている
- ウ 行っていない（行いたいが保護者が好まないを含む）

8 あなたの保育所では、保護者の保育参観を実施していますか。

- ア 実施している（→8-1へ）
- イ 実施していない（→8-2へ）

8-1 どのように実施していますか。

- ア 日時を決めて実施している
- イ いつでも参観できるようにしている

8-2 実施していないのはどうしてですか。1つだけ○をつけてください。

- ア 保育所の方針
- イ 保護者が希望しない
- ウ 職員の意思がまとまらない

9 あなたの保育所では、保護者の保育参加を実施していますか。

- ア 実施している
- イ 実施していない

10 保育所の保育士には、どのようなことが期待されていると思いますか。主なもの3つまでに○をつけてください。

- ア 子どもから慕われる
- イ 子どもの気持ちをよく理解できる
- ウ 明るくて元気がよい
- エ 子どもをきちんと叱ることができる
- オ やさしくて、思いやりがある
- カ 保育知識が豊富である
- キ 職員や保護者からの信頼が厚い
- ク 職場のチームワークを大切にする
- ケ その他 ()

11 あなたの保育所が、よく連携している地域の機関は、次の内どれですか。該当する項目すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|------------|----------|---------------|------------|
| ア 福祉事務所 | イ 児童相談所 | ウ 保健所（保健センター） | |
| エ 小学校 | オ 中学校 | カ 高校 | キ ボランティア団体 |
| ク 老人会 | ケ 公民館 | コ 図書館 | サ 児童館 |
| シ 放課後児童クラブ | ス 主任児童委員 | | |

12 事故防止・安全管理についてお答えください。

12-1 貴園では通園する児童やその保護者・家族以外の者（乳幼児、小・中学生、高校生、大学生等を含む）をボランティアや実習生として受け入れたり、地域の方に施設・設備の利用提供をしていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

ア 休日や幼稚園・小学校の夏期休暇・春期休暇中の園庭開放（→12-1-1へ）

イ 中学・高校・専門学校・大学の授業等の体験学習や実習としての受け入れ
(→12-1-2へ)

ウ 中学生・高校生・専門学校生・大学生等、学生ボランティアの受け入れ
(→12-1-3へ)

エ 成人（学生を除く）のボランティアの受け入れ（→12-1-3へ）

オ 子育てサークル（クラブ）への余裕保育室・会議室などの利用提供
(→12-1-4へ)

カ 地域住民のボランティア、NPO（市民団体）、合唱団・オーケストラ等、趣味の団体等への余裕保育室・会議室等の利用提供（→12-1-4へ）

キ 該当する受け入れや施設・設備の利用提供はしていない（→13へ）

ク その他（ ）

12-1-1 園庭開放にあたり、万が一の事故に備えての貴園での傷害保険加入状況についてお尋ねします。該当するもの1つに○をつけてください。

ア 園庭開放利用者には、園または市区町村が指定する傷害保険に加入してもらっている

イ 園庭開放利用者は、園外・校外での事故に対応する市区町村による傷害保険に加入している

ウ 保育所が（不特定利用児童を対象に）独自に傷害保険に加入している

エ 傷害保険の対応は出来ていない

12-1-2 保育実習生の受け入れにあたり、傷害保険への加入状況についてお尋

ねします。該当するもの1つに○をつけてください。

- ア 実習生が所属する大学・専門学校による傷害保険に加入している
- イ 保育所が実習生用に傷害保険に加入している
- ウ 傷害保険の対応は出来ていない

12-1-3 ボランティアの受け入れにあたり、傷害保険への加入状況についてお尋ねします。該当するもの1つに○をつけてください。

- ア 個別に傷害保険（ボランティア保険）に加入してもらっている
- イ 保育所がボランティアに代わって保険に加入している
- ウ 傷害保険の対応は出来ていない

12-1-4 施設・設備の利用提供にあたり、傷害保険への加入状況についてお尋ねします。該当するもの1つに○をつけてください。

- ア 施設・設備の利用団体に傷害保険に加入してもらっている
- イ 利用者（参加者）の個々に加入してもらっている
- ウ 傷害保険の対応は出来ていない

13 外来者の出入りに係わる対応策（防犯監視システムの設置等）についてお答えください。

13-1 貴園では防犯監視システムの設置等、外来者を確認する体制をとっていますか。

- ア とっている（→13-2へ）
- イ とっていない（→14へ）

13-2 どのような方法で外来者を確認していますか。外来者の出入りに対する防犯監視システムの設置・防犯対策について、貴園で行っているものすべてに○をつけてください。

- ア 保護者・家族、施設利用者等であることが分かる証明書を提示してもら正在する
- イ 出入口を特定し、保護者・家族や施設利用者等、特定の者しか通過できない装置を設置している
- ウ 出入口に設置したインターホンで確認している
- エ 園内滞在中は、外来者であることが分かる名札を付けてもらっている
- オ 防犯カメラを設置している
- カ その他、ア～オ以外の方法をとっている（ ）

14 規制改革の一環として、保育所の調理室撤廃が議論されていますが、このことについてのご意見をお聞かせください。(どれか1つをお選びください)

- ア 調理室は必要 (→14-1へ)
- イ 必要ない (→15へ)
- ウ どちらともいえない (→15へ)

14-1 保育所には調理室が必要だという理由について、次のなか主なもの2つ以内でお答えください。

- ア 「食育」の観点から必要である
- イ 離乳食や除去食、体調不良時等の一人ひとりの子どもに対応するためにも調理室は必要である
- ウ 経済効率・コスト優先の考え方からの撤廃論には反対である

15 待機児童対策として、あなたの保育所では定員を超過する児童数を受け入れていますか。

- ア はい (→15-1へ)
- イ いいえ (→16へ)

15-1 超過率は、年間平均どのくらいですか。

- ア 5%くらい
- イ 10%くらい
- ウ 15%くらい
- エ 20%くらい
- オ 25%くらい
- ウ 25%以上

16 認可保育所に企業の参入が認められていますが、このことについてあなたのお考えに近いものを1つお選びください。

- ア 規制改革の観点から賛成である
- イ 待機児童対策に有効である
- ウ 時代の流れであり、やむをえないと考えている
- エ 保育の世界に利潤追求を目的とする企業の参入は好ましくない
- オ 経営主体としての企業には公共性・永続性が期待できない
- カ 保育所運営が経営効率優先になると、子どもの福祉が損なわれる恐れがある

17 幼保一元化問題に関して、あなたのお考えに近いものを2つ以内でお選びください。

- ア 子どもの少ない地域では一元化した方が財政的にも効率がよい
- イ 公費投入の公平性の観点からも、幼保は一元化すべきである
- ウ 子どもの立場から考えても、就学前教育は一元化が望ましい

- エ 就学前の教育・保育について、全面的に見直す時期にきている
- オ 保育所は児童福祉施設であり、幼稚園とは機能も役割も異なるので一元化すべきではない
- カ 幼保一元化問題を、子どもの視点を抜きにして財政改革や規制緩和のテーマとして論議するのはよくない
- キ 少子化対策が大きな課題になっているのだから、それぞれの制度をますます充実すべきであって、安易な一元化論には反対である

18 保育及び子育て支援について、ご意見があればお書きください。

(自由記述)

_____ ご協力ありがとうございました